

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づく

栄町教育委員会の点検・評価報告書

(平成22年度対象)



栄町教育委員会

平成23年10月

はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、平成20年4月から全ての各教育委員会は毎年その全ての権限に属する事務の管理、執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされました。栄町教育委員会では法の趣旨に則し、課題や方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進のため実施するものです。また、学識経験者の知見を活用し、点検・評価を行い報告書にまとめ、町議会に報告するとともに町民への説明責任を果たすものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

栄町教育委員会委員名簿(平成23年3月現在)

職 名	氏 名
委 員 長	鈴 木 初 子
委員長職務代理者	金 子 一 男
委 員	芦 田 坦
委 員	野 寺 郁 子
教 育 長	澤 村 保 夫

目 次

1	点検・評価の対象	P 1
2	点検・評価の方法	P 1
3	点検・評価の結果	P 1
4	まとめ	P 2
5	点検・評価（施策評価シート）	
	基本方針（１）	
	創意と活力のある教育活動の中で、基礎基本の習得及び活用能力の育成と個性を生かすきめ細かな学校教育を推進します。	P 3
	○学識経験者の意見	P 1 4
	基本方針（２）	
	生涯学習とスポーツを通して、心身ともに健康で生きがいのある生活と心のかよう地域社会をつくるとともに、地域の教育力を生かした子どもたちの健全育成を推進します。	P 1 5
	○学識経験者の意見	P 2 0
	基本方針（３）	
	地域に根ざした芸術・文化の育成と町内にある文化財の保護・伝承・活用を図り、個性豊かで潤いのある地域文化の醸成を図ります。	P 2 1
	○学識経験者の意見	P 2 5

1 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「栄町教育方針」を実現するため、平成22年度の重点的な取組みとして実施した、「特色ある学校づくりの支援」「きめ細かな教育活動の推進」「教育施策の総合的な推進」「情報通信機器の整備」「情報共有の推進」「学習環境の整備・充実」「学校給食の充実」「生涯学習環境の充実」「青少年健全育成事業の充実」「生涯学習資料の充実」「スポーツ振興事業の充実」「文化芸術発信拠点の充実」「町史編纂事務事業の充実」「文化財保護業務の拡充」の14の施策について点検・評価しました。

2 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、教育委員会事務局で作成した「施策評価シート」により自己評価を実施しました。

評価は、主要事業の取り組み状況（達成度）について

- 目標を達成★★★★
- 目標をほぼ達成★★
- 目標に達成していない★
- 現時点で判定できない—

の4段階で実績・成果・課題を記述し、評価する方法で行いました。

なお、客観性を一層高めるため、教育に関し学識経験を有する方に取り組み状況を説明し、基本方針ごとの自己評価に対する学識経験者からの意見をいただきました。

ご意見をいただいた方々のお名前は、次のとおりです。

（50音順 敬称略）

氏 名 田邊 みさを（元小学校長）

氏 名 福本 朋子（千葉県ユニセフ協会事務局長・元教育委員）

3 点検・評価の結果

施策評価シートにより、点検評価を実施しています。

14施策の結果は次のとおり

《目標に対する達成状況》

目標を達成★★★★・・・・・・・・・・11施策

目標をほぼ達成★★・・・・・・・・・・4施策

目標に達成していない★・・・・・・・・・・1施策

現時点で判定できない—・・・・・・・・・・0

（※同じ施策名で2つの課が評価しているものが2施策あります。）

4 まとめ

【学識経験者からの意見を受け、本町教育行政が取り組む方向について】

社会情勢の急激な変化や教育ニーズの多様化などにより、教育をめぐる様々な課題が混在している中、その中核を担う教育委員会におきましては、地域の実態を十分に把握するとともに、将来を展望した教育を充実させることが一層求められております。

また、東日本大震災の教訓を受けて、安全で安心な子どもたちの教育環境を確保していくなど、教育委員会の担う役割の重要性を十分に受け止め、その責務をしっかりと果たしていきたいと考えております。

本町教育委員会では、未来を担う子どもたちが学力をしっかりと身につけ、夢に向かって元気に学校生活を送り、町民の方々が人と人のつながりを大切にしながら健康で生きがいのある生活を送れるようにすることが大切であると考えております。このため、各小中学校においては個に応じたきめ細かな指導を展開するとともに、ふれあい推進委員会や学校支援ボランティア等による「地域の教育力」を活用した活動を通して、子どもたちの生きる力の育成に努めてまいりました。

また、町民に様々な学習機会を提供するため、町民講師の登用や各種団体の協力を得ての各種講座の開設や、芸術・音楽鑑賞機会を提供してまいりました。さらに、町民の自主的な活動の活性化を図るため、町民によるサークル活動やスポーツ活動の支援や、成果発表の場を提供してまいりました。

また、身近な歴史・文化を子どもたちや地域の方々が知り、地域に愛着を感じられるよう、引き続き龍角寺古墳群・岩屋古墳の公有化を進め、さらに、本年度は「ゆめ半島ちば国体」のスポーツ行事として「サイクリング in さかえ」を県内各地から356名の参加者を得て実施しました。多くの町民の皆様のご協力をいただき、サイクリング、スポーツの普及、栄町の魅力を知っていただく絶好の機会とすることができました。

このような重点的な取り組みとして実施した14の施策について自己点検を行うことで現状・課題を把握し、計画の実現に向けて事業の精査を図り、学識経験者の方からいただいたご意見を検討しながら、これからの教育施策に反映させていきます。

今後とも、この点検・評価結果を踏まえ、本町の教育を担う責務を十分に認識しながら、常に教育行政の根本に立ち返り、社会情勢や新たな教育ニーズに応じた効果的な施策の展開に努めてまいります。

5 点検・評価（施策評価シート）

基本方針（1）

創意と活力のある教育活動の中で、基礎基本の習得及び活用能力の育成と個性を生かすきめ細かな学校教育を推進します。

【施策名】

- ・ 特色ある学校づくりの支援・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- ・ きめ細かな教育活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- ・ 教育施策の総合的な推進・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6～P 7
- ・ 情報通信機器の整備・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
- ・ 情報共有の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- ・ 学習環境の整備・充実・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10～P 12
- ・ 学校給食の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ P 13

○学識経験者の意見・・・・・・・・・・・・・・・・ P 14



施策評価シート

施 策 名		特色ある学校づくりの支援									
施策の 情報整理	目指す成果	各小中学校が、その学校運営や教育活動の情報発信・提供を行い、保護者や地域住民参加の「特色ある学校づくり」を推進できる。 教職員人事の適正な執行と配置により学校運営が安定する。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値	19年度実績値				
		学校評議員の設置・中学校外部指導者活用・学校支援ボランティアの活用（％）	100%	100%	100%	100%	100.0%				
	目標に対する達成状況	目標を達成 ★★★	実績値の算出説明		学校評議員の設置、中学校外部指導者や学校支援ボランティアの活用率						
	達成度の判断理由	学校評議員の設置校8校、中学校外部指導者活用校2校、学校支援ボランティアの活用校8校で全校で活用された。									
	今後の課題・方向性	学校評議員や学校支援ボランティアのためのゲストティーチャーや指導員等の人的資源の投入を継続して、その活用への指導助言を行う。									
	他課との役割分担										
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績			改善内容				事業費		
①	特色ある学校づくり推進事業	各学校長の推薦により、学校評議員を全校に配置した。地域住民などによる教育活動の充実のための学校支援を推進した。栄町教育振興会に補助金を交付し、その活動を支援した。22年度より町職員が定年となった小学校2校に、日々雇用職員として学校用務員の配置を行った。学校の健康教育・情操教育・学校安全の指導助言を行った。			地域住民による学校活動支援の推進を継続していく。小中学校と町商工会等の職場体験学習の連絡調整を進めて、各小中学校が、その学校運営や教育活動の情報発信・提供を行い、保護者や地域住民参加の「特色ある学校づくり」を推進する。学校の適正化、適正規模に関する基本的方針から進め方を検討していく。				H19決算	1,140	
									H20決算	1,087	
									H21決算	1,045	
									H22決算	3,757	
②	教職員人事の適正事務事業	教職員の昇給内申事務、産休・育休に関する業務、履歴事項に関する業務など教職員の服務に関する業務を適切に行った。教職員の適正配置、適正な学級編制を実施した。本務教員の休職に際し、事故対策教員を配置した。			教職員の昇給内申事務、産休・育休に関する業務、履歴事項に関する業務など教職員の服務に関する業務を適切に行っていく。教職員の適正配置、適正な学級編制を継続する。学校運営に支障のないように対応する。				H19決算	120	
									H20決算	142	
									H21決算	1	
									H22決算	156	
③									H19決算		
									H20決算		
									H21決算		
									H22決算		
合計									H19決算	1,260	
									H20決算	1,229	
									H21決算	1,046	
									H22決算	3,913	

施 策 名		きめ細やかな教育活動の推進									
施策の 情報 整理	目指す成果	豊かな心を持ち、社会の変化に対応したくましく生きる児童生徒の育成をめざして、基礎・基本の習得及び活用能力(思考力・判断力・表現力等)の育成と個性を生かすきめ細かな学校教育が展開される。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値		19年度実績値			
		補助教員等の配置人数(人)	11人	11人	10人	10人		10人			
	目標に対する達成状況	目標を達成 ★★★	実績値の算出説明		個に応じた授業改善の支援を行うために学校補助教員等の配置人数						
	達成度の判断理由	学校補助教員は小学校2校に配置し特別支援教育補助員を小学校2校に配置した。介助員を3校に5人配置した。個別支援指導員2人を小学校2校に配置した。(外国語指導助手を各中学校に配置(1人)し、要請により小学校へも配置。国際理解教育指導員4人を小学校6校へ配置。教育支援センター指導員を常勤1人、非常勤1人配置。学校司書4人を8校に配置。小学校スクールカウンセラー2人を小学校6校に配置。教育相談員を教育支援センターに配置。									
	今後の課題・方向性	・学校支援教員(学校補助教員と特別支援教育補助員の名称を統合)、介助員、外国人指導助手、国際理解教育指導員などきめ細かな教育のための人員配置を継続して行う。 ・新しい時代に対応した課題や、直面する教育課題に対応した研修会の企画・立案・実施や、学校への指導助言を行っていく。									
	他課との役割分担	福祉課・児童虐待対応事業 児童虐待相談業務 生涯学習課・図書館運営事業 読書教育事業									
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績			改善内容				事業費		
①	国際化に対応した人間教育事業	中学校には外国語指導所助手(ALT)を、小学校には国際理解教育指導員を継続して配置し、各学校の英語活動の指導の支援を行った。			今後も継続して、ALT、国際理解指導員を配置し、担当教員との連絡調整を密にし、小学校の新学習指導要領に対応した授業を展開する。				H19決算	3,695	
									H20決算	3,221	
									H21決算	4,048	
									H22決算	4,040	
②	個に応じた授業改善推進事業	各校の状況に応じて、学校補助教員、特別支援教育補助員、介助員を配置した。就学指導委員会を開催し、答申により適正な就学指導を行った。学力向上アドバイザーを配置し、授業改善等に役立てた。栄町学習道場わくわくドラムを夏期休業中に開き、子どもたちの学力向上を支援した。緊急雇用事業により個別支援指導員を配置した。			「栄町学力向上プラン」の実現に向けた具体的方策の中で、家庭学習と、小中連携を推進していく。習熟度に応じた指導や繰り返しの指導等の機会を増やし、きめ細かな教育活動が、各校の実態に応じて展開されるようにする。特別な支援の必要な児童生徒の適切な指導や自立支援、学校生活の安全確保が図れるようにする。適切な就学指導が行われるようにする。				H19決算	13,146	
									H20決算	11,555	
									H21決算	10,084	
									H22決算	16,840	
③	心の教育支援事業	教育相談体制として教育相談員、スクールカウンセラーを配置、教育支援センターを引き続き設置し、指導員を配置した。小・中学校生徒指導担当者会議を計画的に開催し情報の共有を図り、生徒指導の助言を行った。道徳教育について指導・助言した。緊急雇用事業により学校図書館司書を各校に配置し整備、充実を図った。			小中連携や家庭、関係機関との連携を図るなど、不登校児童生徒への支援の充実に取り組む。生徒指導、道徳教育について指導・助言していく。道徳教育の一層の充実を図る。読書活動を一層充実し、児童生徒が、自ら進んで読書に親しむ意欲と態度を育成する。				H19決算	2,775	
									H20決算	2,580	
									H21決算	2,845	
									H22決算	6,828	
④	学校教育を担う人材の育成支援事業	教職員の資質向上支援のため、各種教職員の所属する専門性を高める研修会の負担金を補助した。また、教育課題に対応できる研修会を開催した。学習指導要領の改訂の趣旨や移行措置について指導助言した。安食小が印教連の算数科の研究指定校となり、2年目の研究公開を向かえ、公開研究会のための経費を補助し、支援した。			年間計画による研修を確実に実施する。中学校の学習指導要領の改訂の趣旨や移行措置について指導助言する。各学校の校内研修会の講師謝礼、各種研修会等負担金を補助する。				H19決算	908	
									H20決算	839	
									H21決算	894	
									H22決算	1,319	
合計									H19決算	20,524	
									H20決算	18,195	
									H21決算	17,871	
									H22決算	29,027	

施 策 名		教育施策の総合的な推進									
施策の 情報 整理	目指す成果	望ましい学校教育のあり方、学校の適正化、適正規模に関する基本的な考え方をまとめる。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値	19年度実績値				
		学校規模適正化検討委員会の開催(回)	5回	5回							
	目標に対する達成状況	目標を達成 ★★★	実績値の算出説明		学校規模適正化検討委員会の設置・開催(5回)						
	達成度の判断理由	学校規模適正化検討委員会を設置し、会議を5回開催して検討し、望ましい学校規模に関する基本方針を策定した。									
	今後の課題・方向性	望ましい学校教育のあり方、学校の適正規模、適正配置等についての基本方針に基づき学校の適正配置の進め方を検討する。									
	他課との役割分担	教育総務課・学校教育施設整備事業 学校教育施設計画策定業務									
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績			改善内容				事業費		
①	学校規模の適正化事業	学校規模適正化検討委員会を5回開催し、検討した。先進地の視察を行った。栄町の望ましい学校規模に関する基本方針について、パブリックコメントの募集をし、望ましい学校規模に関する基本方針を策定した。			学校規模適正化検討委員会を継続して、年回6回開催予定とする。望ましい学校規模に関する基本方針から進め方を検討していく。				H19決算	0	
									H20決算	0	
									H21決算	0	
									H22決算	498	
②									H19決算		
									H20決算		
									H21決算		
									H22決算		
③									H19決算		
									H20決算		
									H21決算		
									H22決算		
合計									H19決算	0	
									H20決算	0	
									H21決算	0	
									H22決算	498	

施 策 名		教育施策の総合的な推進									
施策の 情報 整理	目指す成果	教育委員会、学校、その他の教育機関を適正管理し、円滑な教育行政が行われている。また、児童・生徒及び教員がより良い環境で学習することができるようになっている。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値	19年度実績値				
		事務機器不具合の不備未処理数	0件	0件	0件	0件	0件				
	目標に対する達成状況	目標を達成 ★★★	実績値の算出説明		事務機器の不具合はすべて処理したため未処理はない。						
	達成度の判断理由	事務機器の不具合はすべて処理した。									
	今後の課題・方向性	課題は事務局を適切に管理することであるが、職員の適正配置及び教育行政に係る職員研修の参加を積極的に促していく。また、児童・生徒及び教職員が快適な学校生活を送れるように予算を適正に執行・管理する。									
	他課との役割分担	総務課：人事、財政課：財政面の支援、生涯学習課：社会教育行政全般									
事務事業について											(単位：千円)
事務事業名		取組実績		改善内容				事業費			
①	教育総務管理に関する業務	教育委員会議臨時会を開催することもなく円滑に運営することができた。		点検評価の内容を踏まえ、教育現場を点検する機会を増やし、教育行政に反映しより良い施策を展開する。				H19決算	2,926		
								H20決算	2,909		
								H21決算	1,881		
								H22決算	1,901		
②	学校用備品管理に関する業務	学校予算を適正に執行・管理することができた。		より良い学校生活が送れるよう学校間の消耗品などの共有化等を考えながら予算を適正に執行・管理し、老朽した機器の入替を実施する				H19決算	33,351		
								H20決算	38,253		
								H21決算	39,829		
								H22決算	34,813		
								H19決算			
								H20決算			
								H21決算			
								H22決算			
合計								H19決算	36,277		
								H20決算	41,162		
								H21決算	41,710		
								H22決算	36,714		

施 策 名		情報通信機器の整備									
施策の 情報整理	目指す成果	情報化社会において必要とされる知識、技術を身に付けさせ、時代に即した適確な教育ができるように整備をする。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値		19年度実績値			
		教務及び事務用情報通信機器配置割合	100%	95%	0%	0%		0%			
		教授用事務用情報通信機器配置割合	100%	90%	0%	0%		0%			
		通信速度の高速化できた学校数	8校	8校	1校	0校		0校			
		目標に対する達成状況	目標を達成 ★★★	実績値の算出説明		概ね整備は完了したが、予算の手当てが困難なため、今年度は特別教室等に古いPCを再配置したものの保守を実施するため、壊れて使用できない台数に目標値を変更する。					
	達成度の判断理由	教務及び事務用情報通信機器の内インターネット用PCの入れ替え予算がなかったため、既存の機器を再生して、各校へ再配置したため、達成度は95% 教授用事務用情報通信機器の内特別教室用PCの入れ替え予算がなかったため、既存の機器を再生して、各校へ再配置し、図書室のみに設置したため、達成度は90% 通信速度の高速化できた学校数 すべてCATV光120Mの高速回線線に切り替えたため達成度は8校									
	今後の課題・方向性	22年度に情報通信機器の整備を行った。また、通信回線の見直しを行い高速通信の実現と経費の削減等を行ったが、さらに関連機器との接続等検討し今後の計画的更新を図る。 【より効率的授業を実施するために教務用・事務用情報通信機器の導入を推進する。(事務用2～3台/校) 今年度導入する機器のほか、特別教室等既存機器を所管換え等に対応した機器を維持しつつ順次入替を推進する。(特別教室用など生徒3.6人/台)】									
他課との役割分担											
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績			改善内容				事業費		
①	情報通信機器整備事業	事務用の内インターネット接続用通信機器を除き整備終了した。 PC教室、普通教室はテレビ及び情報通信機器の整備は終了した。また、特別教室に関しては未整備であるが図書室のみ旧PCを再配布した。 全校の回線をケーブルテレビの回線に契約変更し高速通信を実現した。			学校指導担当課に対し、適正なアドバイスを行い、学校へ適正な指導を行えるようにする。				H19決算	6,885	
									H20決算	1,430	
									H21決算	1,628	
									H22決算	134,276	
									H19決算		
									H20決算		
									H21決算		
									H22決算		
合計									H19決算	6,885	
									H20決算	1,430	
									H21決算	1,628	
									H22決算	134,276	

施 策 名		情報共有の推進									
施策の 情報 整理	目指す成果	町民と互いに情報を共有することにより、子ども達へのサポートを実現									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値		19年度実績値			
		ホームページのアクセス数 メール配信サービスの保護者の登録者の割合	40件/日 未実施	43件/日 未実施	45件/日 未実施	43件/日 未実施		29件/日 未実施			
	目標に対する達成状況	目標を達成 ★★★	実績値の算出説明		(87412 - 71635)/(365+2) = 42.989件/日 H23.3.31 H22.3.29						
	達成度の判断理由	年間ホームページのアクセス数 / 当該算出日数 43件/日で達成した。									
	今後の課題・方向性	町ホームページと一体化等の調整を図ることも必要となる。また、学校メールに関しては学校教育課で防災メール等の配信者として運用しているので、担当課を通じ、今後の動向を注視していく。									
	他課との役割分担										
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績		改善内容				事業費			
①	教育委員会広報事業	豊富な情報を適時迅速に発信した。		迅速にホームページ更新等作業を行い町民に情報提供を行う。				H19決算	0		
								H20決算	0		
								H21決算	0		
								H22決算	0		
②	学校情報発信事業	学校関連の情報発信は学校教育課にて防災メールの発信を行っている。		学校教育課にて各校との対話により導入の検討を行う。				H19決算	0		
								H20決算	0		
								H21決算	0		
								H22決算	0		
								H19決算			
								H20決算			
								H21決算			
								H22決算			
合計								H19決算	0		
								H20決算	0		
								H21決算	0		
								H22決算	0		

施 策 名		学習環境の整備・充実									
施策の 情報 整理	目指す成果	児童・生徒及び教員がより良い環境で学習することができ、健康面でも安心して学校生活が送れるようになる。 また、経済的に困窮している世帯でも安心して学校に通わせることが出来るようになっていることから、町民としての自覚が生まれ、自他を愛し、町を愛する心が育まれる。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値	19年度実績値				
		学校予算の適正執行・定期健康診断の実施・必要な就学援助(%)	100%	100%	100%	100%	100.0%				
	目標に対する達成状況	目標を達成 ★★★	実績値の算出説明		学校予算の適正な執行率、定期健康診断の実施率、必要な児童生徒への就学援助の実施率						
	達成度の判断理由	学校予算を適正に執行し、児童生徒の学習環境を整えられた。児童生徒教職員の定期健康診断を実施し、健康な学校生活を送ることができた。経済的に困窮している児童生徒に適切な教育援助が行えた。支給対象者に私立幼稚園就園奨励費を支給した。									
	今後の課題・方向性	・就学事務、転入学、転退学事務は正確に速やかに取り組む。・児童生徒、教職員の定期健康診断を計画的に実施し、疾病の早期発見に努める。特に結核検診は万全を期す。・就学支援事業が適切に遂行されているか進捗状況を確認する。・国の基準が改正され私立幼稚園就園奨励費が高額となっており、それに伴い一般財源が圧迫されていくと考えられる。									
	他課との役割分担	健康保険課・受診環境整備事業 三師会業務 財政課・公用車運行管理事業 公用車(バス含む)整備点検及び配車業務 福祉課・民生委員児童事業 民生児童委員協議会運営業務、低所得者支援事業 生活保護推進・生活支援業務 教育総務課・学習環境整備事業 学校管理・運営業務									
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績		改善内容				事業費			
①	就学事務の適正化推進事業	学校教育法に基づき、就学指定校の変更、区域外就学に関する業務、入学通知に関する業務を適切に行った。小学校への就学前児童の就学時健康診断に関する事務についても、入学通知業務同様に転出入の管理をして正確に行った。卒業に際し、卒業証書印刷、記念品の補助、9ヶ年精勤の表彰を行った。		就学指定校の変更及び区域外就学に関する業務、通学区域審議会運営業務、入学通知に関する業務、就学時健康診断に関する業務、卒業に関する業務について、正確な事務処理を行う。				H19決算	620		
								H20決算	537		
								H21決算	531		
								H22決算	541		
②	児童・生徒関係事業	学齢簿に関する業務として、就学予定者と転入児童生徒の学齢簿を新規に作成した。また、転出入児童生徒の学齢簿記載事項の変更について、加除訂正を適切に行い、該当校長に通知を行った。児童生徒の転出入の際に、転入・転退学通知書を発行し、学校長へ通知した。学校が実施する体力・運動能力テストの取りまとめを行った。		学齢簿に関する業務、転入学・転退学に関する業務、体力・運動能力テスト関係業務について、正確な事務処理を行う。				H19決算	30		
								H20決算	0		
								H21決算	0		
								H22決算	0		
③	学校保健事業	児童生徒に内科検診・歯科検診・眼科検診・耳鼻科検診・ぎょう虫卵検査・脊柱側弯症検診・心電図検査・結核検診・尿検査を実施した。所見のある児童生徒については、結核精密予防検診・学校検尿第三次精密検査を行った。中学1年生に生活習慣病予防検診を行った。教職員健康診断等を実施した。各事業を円滑に実施した。		定期健康診断業務(児童・生徒・教職員)、生活習慣病健診業務、学校医・学校歯科医・学校薬剤師に関する業務、学校保健会に関する業務等事務事業を円滑に実施する。				H19決算	6,032		
								H20決算	6,389		
								H21決算	5,416		
								H22決算	5,704		
④	学校衛生事業	学校給食の配膳に関わる学校用務員の細菌検査を行った。夏休み中に学校配膳室の害虫駆除を実施した。用務員及び配膳室の衛生管理を徹底した。食中毒もなく清潔な状態が保たれた。		細菌検査業務、学校配膳室害虫駆除業務を行う。通年に渡り、配膳室を良好な環境に保つようするための、除菌洗浄剤を配付する。				H19決算	88		
								H20決算	236		
								H21決算	236		
								H22決算	235		

⑤	災害共済給付事業	学校の管理下の児童生徒の災害に対応する日本スポーツ振興センターの掛金の納付、給付金の請求事務を正確に処理した。給付請求に係る事務のオンライン化により迅速、正確且つ簡便に災害給付手続きが実施できた。	児童生徒の日本スポーツ振興センターの掛金の納付、給付金の請求事務を正確に処理する。学校に対し、災害報告が正確にされるように指示する。事務処理が遅滞なく行われるようにする。	H19決算	1,567
				H20決算	1,556
				H21決算	1,454
				H22決算	1,369
⑥	学習環境整備事業	教科書の給与業務と小学校の教科書改訂に伴い、教師用の教科書・指導書を購入整備した。中学校全国大会出場の部活動補助金を交付した。校外学習等に必要の町バスや借り上げバスでの調整を行った。各学校へ予算配当し適切に執行管理を行った。学校の環境検査を学校薬剤師により実施した。学習環境が充実するように適正な事務を行った。	小学校の教科書改訂に伴って、教材備品の整備を行う。義務教育を推進していく上での必要最小限の事務事業を維持していく。住民生活に光をそそぐ交付金（繰越明許費）を活用し、各小・中学校の図書を購入し、学校図書館の充実を図り、整備を行う。	H19決算	20,640
				H20決算	14,022
				H21決算	18,534
				H22決算	22,333
⑦	就学支援事業	学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、教育委員会会議で認定を受け、必要な援助を行った。同じく特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、負担の能力に応じ、就学に必要な援助を行った。公正な事務を行った。	特別支援学級に在籍する児童生徒の就学援助費は国庫補助金によるものである。改正等に対応して事務を行う。制度の周知を図るとともに、本当に必要とする世帯が支援を受けられるよう公正な事務を行う。	H19決算	5,950
				H20決算	5,648
				H21決算	6,662
				H22決算	5,760
⑧	調査・統計事業	学校基本調査、学校教育実態調査等の各種調査研究関係について、正確に事務を行った。	各種統計調査、研究調査について、確実にに行い、関する事務に生かす。	H19決算	0
				H20決算	0
				H21決算	0
				H22決算	0
⑨	私立幼稚園就園奨励費補助事業	各幼稚園を通じて、園の協力のもとに保護者本人の申請により、私立幼稚園に通園している町内在住の園児の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、負担能力の程度（世帯構成と町民税所得割課税を確認）に応じ、保育料の所要経費の一部を補助する業務を円滑に実施した。	幼稚園就園奨励費補助金は、文部科学省所管の国庫補助金による事業であり、町は国庫補助限度等の変更に対応し、町の交付規則を毎年度変更する必要がある。通常の事務を行いつつ、併せて規則の変更・改正を行い、公正な事務を行う。	H19決算	
				H20決算	
				H21決算	18,586
				H22決算	20,066
合計				H19決算	34,927
				H20決算	28,388
				H21決算	51,419
				H22決算	56,008

施 策 名		学習環境の整備・充実									
施策の 情報整理	目指す成果	児童・生徒及び教員がより良い環境で学習することができ、健康面でも安心して学校生活が送れるようになって いる。									
	施策目標値及び実 績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値		19年度実績値			
		学校施設整備の 件数(耐震化の必 要棟数に対する整 備率)(%)	100%	67%	67%	50%		50%			
	目標に対する達成 状況	目標をほぼ達成 ★★	実績値の 算出説明		学校施設の耐震化については、平成18年度に栄中学校校舎大規模 (耐震補強)工事、平成21年度に布鎌小学校体育館改築工事など概 ね目標は達成された。しかし北辺田小学校の校舎及び体育館の2施 設が未整備であるので全体として目標をほぼ達成とした。						
	達成度の判断理由	北辺田小学校の校舎及び体育館の耐震化が平成23年度以降になったため。									
	今後の課題・方向 性	学校施設の耐震化については、北辺田小学校の校舎及び体育館の2施設が未整備の状況である。各小中学校 の児童生徒数の減少に伴い、学校規模適正化について検討する必要があるが、北辺田小学校の耐震化につい ては、学校規模適正化計画の策定と並行して検討する。									
	他課との役割分担										
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績			改善内容				事業費		
①	学習環境整備事業	生徒・児童の学習環境を計画的に整備 すべく中学校3年生及び小学校6年生の 机・椅子を買い換え更新した。(393セッ ト)			各小中学校の机・椅子について老朽化によ る損傷が著しく、新JIS規格に適合してい ないことから、これらを買い換え更新す る。				H19決算	20,640	
									H20決算	14,022	
									H21決算	18,886	
									H22決算	10,385	
②	学校教育施設整備事業	学校施設の修繕費については、平成22 年3月に国費を伴う町補正予算が成立し たので国の交付金を活用し、懸案事項で あった比較的大規模な修繕を実施した。 (建築・電気設備・給排水設備等)			北辺田小学校の体育館の耐震化につい ては、耐震補強が可能なのか耐震診断を行 い、早急に千葉県判定協議会の判定を受け る必要がある。				H19決算	23,678	
									H20決算	233,935	
									H21決算	258,069	
									H22決算	30,726	
									H19決算		
									H20決算		
									H21決算		
									H22決算		
合計									H19決算	44,318	
									H20決算	247,957	
									H21決算	276,955	
									H22決算	41,111	

施 策 名		学校給食の充実									
施策の 情報整理	目指す成果	児童・生徒やその保護者は、給食が安全な食材を使用し、衛生的に作られていることを知っており、栄養バランスの大切さについても理解している。また、地元の生産者や食材を知っており、給食にどのように使われているかについても理解しているため、残さずに食べようという意識が育っている。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値		21年度実績値		20年度実績値		19年度実績値	
		児童生徒の給食を食べた量の割合（％）	90%	87%		90%		90%		90.0%	
	目標に対する達成状況	目標をほぼ達成 ★★	実績値の算出説明		供給量に対する残菜の量						
	達成度の判断理由	各学校に栄養指導に入り、児童・生徒だけではなく、試食会等を活用し、保護者にも食の指導を行い、食習慣を見直してもらう機会を設けた。また、給食時間を増やしてくれた学校もあった。しかしながら、結果としては残菜量は思う程は減少しなかったが目標値には近づいた。									
	今後の課題・方向性	・施設維持管理事業:調理場内の設備等の改修が懸念されるものの、定期的な消耗品等の交換・修繕を行っている。給食費徴収事業:督促や催告をしても徴収のできない悪質な未納者への法的措置を考えていく。・給食事業:児童・生徒や保護者への栄養指導及び職員の学校訪問を行い、残菜量を確実に減らしていく。									
	他課との役割分担	税務課収納対策室・滞納者等収納対策事業 町税等収納処理業務									
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績			改善内容				事業費		
①	施設管理維持事業	定期点検以外にも、施設・機器の点検を頻繁に行うことで修繕箇所の早期発見に努め、計画的に修繕等を実施した。			法定点検の実施のほか、職員等による点検整備または、修繕を随時行う。				H19決算	24,444	
									H20決算	23,229	
									H21決算	41,353	
									H22決算	29,421	
②	給食費徴収事業	特に、残高不足による未納者に対し、確実に納付してもらうよう督促を行うことで、滞納繰越になる分を減らした。			毎月、金融機関等の口座振替結果を消し込み作業し、未納者に対する納入通知書の発行及び滞納整理を継続的に行う。				H19決算	144	
									H20決算	143	
									H21決算	133	
									H22決算	150	
③	給食事業	徹底した衛生管理のもと、安全で安心して食べられる給食を提供した。また、引き続き栄養指導を行い、沢山の種類の食材を偏りなく食べることの大切さについて指導を行った。			品質・食味等を基に栄養士が決定した食材の発注・検収を慎重に行い、異物混入の未然防止あるいは、食中毒等の予防に努める。また、調理過程においても同様に最善の注意を図る。				H19決算	158,154	
									H20決算	155,915	
									H21決算	148,123	
									H22決算	143,515	
合 計									H19決算	182,742	
									H20決算	179,287	
									H21決算	189,609	
									H22決算	173,086	

学識経験者の意見（基本方針（１）について）

【施策名：特色ある学校づくりの支援】

- ・ 学校評議員を今後も有効に活用してもらいたい。
- ・ 本務教員の休職に際し事故対策教員を配置したということで、学校としては大変助かるので今後もお願いしたい。

【施策名：きめ細やかな教育活動の推進】

- ・ 補助教員等の配置はだいぶ充実してきましたが、今後も学校からの要望になるべく応えてもらいたい。
- ・ 学校教育を担う人材育成研修を充分やっていただきたい。

【施策名：教育施策の総合的な推進】

- ・ 学校規模適正化は大変なことなので、情報をいろいろな形で発信していただきたい。
- ・ これからも教育現場の現状をよく見ていただきたい。

【施策名：情報共有の推進】

- ・ 東日本大震災でもメールだけは通じたということなので、大きな災害がきたときに保護者への連絡なども考えなければならぬし、学校メールは防災だけではなく連絡にも有効なので、導入を進めてほしい。
- ・ 各学校のホームページを更新するのも大事なことで学校にも推進してもらいたい。

【学習環境の整備・充実】

- ・ 学習指導要領の改訂があるので、教材備品の整備を是非充実させていただきたい。
- ・ 机・椅子の買い換えは大変良かった。

【学校給食の充実】

- ・ 悪質な給食費未納者について、法的措置も含めて考えていかななくてはいけないのではないかな。
- ・ 残菜量は思うほどは減少しなかったという事ですが、学校の教育は欠かせないので、教職員にも協力してもらいながら、残菜量を減らしてもらいたい。

基本方針（２）

生涯学習とスポーツを通して、心身ともに健康で生きがいのある生活と心のかよう地域社会をつくるとともに、地域の教育力を生かした子どもたちの健全育成を推進します。

【施 策 名】

- ・生涯学習環境の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 6
- ・青少年健全育成事業の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 7
- ・生涯学習資料の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 8
- ・スポーツ振興事業の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 9

○学識経験者の意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 0



施策評価シート

施 策 名		生涯学習環境の充実									
施策の 情報 整理	目指す成果	学習の場を提供することにより、学習したことをまちづくりに生かし、行政と住民が一体となったまちづくりを行うことができる。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値		21年度実績値		20年度実績値		19年度実績値	
		年間講座開催数	60講座	62講座		58講座		81講座		99講座	
	目標に対する達成状況	目標を達成 ★★★	実績値の算出説明		いきいき塾さかえ事業 58講座 学習アドバイザー事業 4講座						
	達成度の判断理由	講座をきっかけとして新たなサークル団体が生まれ活動が始まった。									
	今後の課題・方向性	個人の趣味や関心に基づく個人的な学習活動のみならず、社会全体の知識基盤を強固にするための、社会や地域課題に取り組む学習を支援するため、民間事業者・NPO・住民活動団体等の主体からだけでは提供されない学習機会・情報を提供していく必要がある。									
	他課との役割分担	産業課、健康保険課、教育総務課、環境課等①生涯学習に結び付く多様な学習機会の提供に関連する業務									
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績		改善内容				事業費			
①	生涯学習推進事業	学習アドバイザー・サークル会員以外にも人的ネットワークの拡大に努めた結果、幅広い講座の展開を図ることができた。		町民の学習ニーズを把握するため、各講座受講者へのアンケート調査を行い、学習のきっかけや意欲を高められるような新規講座の開設を企画する。		H19決算	334				
						H20決算	233				
						H21決算	121				
						H22決算	340				
②						H19決算					
						H20決算					
						H21決算					
						H22決算					
③						H19決算					
						H20決算					
						H21決算					
						H22決算					
合計						H19決算	334				
						H20決算	233				
						H21決算	121				
						H22決算	340				

施 策 名		青少年健全育成事業の充実									
施 策 の 情 報 整 理	目指す成果	子供たちが、地域の人達に見守られながら伸び伸びと元気に暮らしている。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値	19年度実績値				
		地域ふれあい推進委員等の活動小学校校区数	6学区	6学区	4学区	3学区	3学区				
	目標に対する達成状況	目標を達成 ★★★	実績値の算出説明		・ふれあい推進委員活動 5小学校区 ・学校支援地域本部事業 1小学校区						
	達成度の判断理由	子どもたちが地域の大人たちとの交流や様々な体験を通して、豊かな人間性を育むことができるよう、地域のふれあい推進委員が行う活動を支援した。【北辺田・酒直・布鎌小・安食小・安食台小】 地域全体で学校を支える学校支援ボランティア活動の取り組みを推進した。【竜角寺台小】									
	今後の課題・方向性	地域が子どもを育むことを目的に、地域と子どもたちとのふれあい交流事業が展開されている小学校区については、地域力を活かした学校支援ボランティアの活動へと更に輪が広がるように、その環境づくりを支援していく必要がある。									
	他課との役割分担	健康保険課①こころの健康相談事業 住民活動推進課①防犯活動推進業務、交通安全活動推進業務、行政出前講座 学校教育課①「栄っこ」夢・元気プロジェクト推進事業、学力向上支援業務(栄町学習道場・わくわくドラム)									
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績			改善内容				事業費		
①	青少年健全育成事業	ふれあい推進委員等組織が未設置の安食小学区・安食台小学区において、組織が立ち上がった。また、現在、活動中のふれあい推進委員等組織については、事業内容の見直しが行われ、当該事業の充実化が図られた。			地域の状況やニーズを踏まえたうえで、地域力を活かした「学校支援ボランティア」と、地域が子どもたちを育む活動を行う「ふれあい推進員」相互の役割分担を明確にし、連携を強化していく。				H19決算	861	
									H20決算	819	
									H21決算	1,818	
									H22決算	2,203	
②	成人式事業	実行委員を中心に自分たちの手で企画・運営を行ったことにより、新成人該当者のうち68.8%の出席者のもと式を挙行することができた。			成人式実行委員会会議に、前年度の結果をふまえた式典内容の改善を提案する。				H19決算	24	
									H20決算	8	
									H21決算	8	
									H22決算	8	
③									H19決算		
									H20決算		
									H21決算		
									H22決算		
合 計									H19決算	885	
									H20決算	827	
									H21決算	1,826	
									H22決算	2,211	

施 策 名		生涯学習資料の充実									
施策の 情報整理	目指す成果	住民は利用しやすい環境を整えた図書室で、自らの学習で必要とする図書資料や視聴覚教材などの情報を入手し、知識・教養を高めている。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値	19年度実績値				
		図書室利用者数	13,000人	13,238人	12,500人	目標値変更のため実績値未把握	目標値変更のため実績値未把握				
	目標に対する達成状況	目標を達成 ★★★	実績値の算出説明		図書貸出人数 11,481人 新聞等閲覧人数 1,757人						
	達成度の判断理由	利用登録者数についても、H19=12,472人、H20=12,842人、H21=13,103人、H22=13,333人と年々増加しており、比例して利用者数も増加傾向にある。									
	今後の課題・方向性	様々な社会的課題の解決のため、多角的な視野からの知識や情報が必要となっており、多くの町民が必要とする知識や情報が適切に入手できるような環境整備が求められているため、今後、定期的に蔵書の確保と適切な管理を行っていく必要がある。									
	他課との役割分担	学校教育課②学校司書配置業務 教育総務課②公文書等歴史資料の収集・整理・保存・公開 福祉課②ブックスタート業務									
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績			改善内容				事業費		
①	図書室管理運営事業	寄贈本は増加傾向にあり、また、図書室ボランティア登録者も増え、その活動も、本の修理や配架作業等、定期的に実施されるようになった。			蔵書の適切な処理を行うとともに、計画的な書籍購入、寄贈本の呼びかけの継続、配架工夫による図書室の魅力づくりを推進し、利用者増を図る。				H19決算	1,284	
									H20決算	1,214	
									H21決算	1,215	
									H22決算	2,525	
②	読書教育に関すること	図書ボランティアによる本の読み聞かせを行ったほか、学校に調べ学習や朝読書用の本の貸出を行った。また、本の読み聞かせ講座を開設して、読書ボランティアの育成を図った。			学校図書との連携を更に積極的に展開するため、団体貸し出し、司書研修会、学校訪問を充実させていく。また、就学前児童を対象にした「読み聞かせ会」のPRを強化し、乳幼児からの読書教育増進に努める。				H19決算	0	
									H20決算	0	
									H21決算	0	
									H22決算	0	
③	視聴覚教育に関すること	ビデオ・DVD等が手軽に手に入るようになり、以前に比べるとニーズが減り、教材の貸出しも減っている状況にある。			視聴覚教材リストを再整備し、広く情報を提供することにより教材利用の増加に結び付ける。星空映画会については房総のむらとの共同開催により、より多くの子ども達に鑑賞機会を提供する。				H19決算	0	
									H20決算	41	
									H21決算	83	
									H22決算	41	
合計									H19決算	1,284	
									H20決算	1,255	
									H21決算	1,298	
									H22決算	2,566	

施 策 名		スポーツ振興事業の充実									
施 策 の 情 報 整 理	目指す成果	多くの町民が気軽にスポーツを楽しんでいる。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値	19年度実績値				
		スポーツ・レクリエーション参加者数	12,500人	12,027人	12,120人	11,500人	11,000人				
	目標に対する達成状況	目標をほぼ達成★★	実績値の算出説明		体育施設利用件数(4,813件)＋スポーツ大会等参加者数(7,214人)＝12,027人						
	達成度の判断理由	東日本大震災で学校体育館が被災し、3月12日から使用できず、年度末までに予定していたスポーツ大会や体育館を定期利用するスポーツ団体の活動が休止したが、目標値の96%の参加者を得ることができた。									
	今後の課題・方向性	新たな軽スポーツの発掘にあたり、体育指導員等が指導者として知識を取得できるよう講習会等への参加を積極的に促す。									
	他課との役割分担	建設課(水と緑の運動広場の総合的な修繕)、健康保険課(健康事業とのタイアップ)									
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績			改善内容				事業費		
①	スポーツレクリエーション交流事業	千葉国体(デモンストレーションスポーツ行事)サイクリング開催 各種軽スポーツ教室開催			千葉国体(デモンストレーションスポーツ行事)サイクリングでは定員を超える参加者を迎えることができた。これを契機に次年度以降も、より多くの町民がサイクリングを気軽に楽しめる講座等を開催する。				H19決算	789	
									H20決算	727	
									H21決算	664	
									H22決算	2,137	
②	スポーツ競技力向上事業	印旛郡市民体育大会参加(体育協会専門部) 町民ブルー一般開放 印旛郡市駅伝競走大会参加 利根リバーサイドマラソン・ウォーキング開催			印旛郡市民体育大会においては、選手不足により欠場となった競技種目があった。体育協会専門部の活動の充実を図るために部員募集等について積極的に取り組む。				H19決算	2,685	
									H20決算	1,904	
									H21決算	1,982	
									H22決算	1,797	
③	生涯スポーツ環境整備事業	水と緑の運動広場(野球場・テニスコート)ナイター照明の撤去 水と緑の運動広場(テニスコート)人工芝の一部張替			東日本大震災で被災した水と緑の運動広場施設の早期利用再開に向け、建設課と協働し修繕に努める。				H19決算	3,934	
									H20決算	4,718	
									H21決算	4,039	
									H22決算	7,959	
合 計									H19決算	7,408	
									H20決算	7,349	
									H21決算	6,685	
									H22決算	11,893	

学識経験者の意見（基本方針（２）について）

【施策名：生涯学習環境の充実】

- ・学習アドバイザー登録を何年かに一度更新すべき。
- ・魅力的な講座を開くのは大変ですが今後もアンケートなどを参考に企画してほしい。

【施策名：青少年健全育成事業の充実】

- ・学校支援地域本部事業で竜角寺台小に学校支援に入っていますが、他の小学校区のふれあい推進委員活動でも、学校支援としての活動を学校の要望があれば協力して進めてほしい。

【施策名：生涯学習資料の充実】

- ・最新刊がないと魅力的な図書室ではないので、紙媒体だけでなくパソコン等でも読めるようになると良い。
- ・星空映画会を房総のむらで行って好評だったようですが、視聴覚教材をより活用していただきたい。

【施策名：スポーツ振興事業の充実】

- ・利根リバーサイドマラソン・ウォーキングは継続的に続けてもらいたい。
- ・千葉国体サイクリングは定員を超える参加者がいて、その後もサイクリングを町で広げていこうという動きが出たというのは非常に素晴らしい。

基本方針（３）

地域に根ざした芸術・文化の育成と町内にある文化財の保護・伝承・活用を図り、個性豊かで潤いのある地域文化の醸成を図ります。

【施 策 名】

- ・文化芸術発信拠点の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 2
- ・町史編纂事務事業の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 3
- ・文化財保護業務の拡充・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 4

○学識経験者の意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 5



施策評価シート

施 策 名		文化芸術発信拠点の充実									
施策の 情報 整理	目指す成果	文化芸術に触れ、学習意欲を刺激しあい、住民個々のスキルアップがされ、心豊かにいきいきと生活する。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値	19年度実績値				
		ふれあいプラザ利用者数(年間)	250,000人	176,870人	155,587人	181,931人	175,748人				
	目標に対する達成状況	目標に達成していない ★	実績値の算出説明		ふれあいプラザさかえの年間利用者数						
	達成度の判断理由	利用者の利便性向上のため、施設の機能改善を図るとともに、自主事業として地元芸術家の作品展や高校・大学等の協力を得てのコンサートの開催等を行いながら利用者数の増を目指し、前年度比では利用者が増加したものの、目標達成には至らなかった。									
	今後の課題・方向性	利用満足度と利用率の向上。 作品展等の開催や、芸術文化に触れる機会の提供。 文化芸術活動の中心となるような団体育成。 管理運営や事業企画の充実、民間の活力導入。									
	他課との役割分担	住民活動推進課、福祉課、学校教育課、健康保険課									
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績		改善内容				事業費			
①	ふれあいプラザ施設管理事業	補助事業等の活用により、文化ホールの屋根防水工事、ふれあいセンターの和室畳・襖張替え・空調設備の修繕等を行った。		より利便性の向上と安全性の確保に努め、施設・設備の不具合の解消を図る。				H19決算	37,627		
								H20決算	35,646		
								H21決算	54,669		
								H22決算	71,868		
②	文化芸術振興事業	貸館事業による文化事業を展開。「宝くじまちの音楽会」として、南こうせつ等著名アーティストのコンサート実施や、地元芸術家による「鎧・兜展」を実施。		基金の支出を極力抑えながら、各助成制度の活用により町民のニーズに合った自主事業を展開していく。				H19決算	29		
								H20決算	29		
								H21決算	29		
								H22決算	29		
③	文化活動芸術団体支援事業	サークル団体等の日頃の活動成果、発表する機会としてふれあいプラザまつりを実施。		ふれあいプラザまつりを他の催し物と合わせた形で、より大きなイベントとできないか、関係団体等と協議・検討が必要。				H19決算	0		
								H20決算	0		
								H21決算	0		
								H22決算	0		
合 計								H19決算	37,656		
								H20決算	35,675		
								H21決算	54,698		
								H22決算	71,897		

施 策 名		町史編纂事務事業の充実									
施策の 情報整理	目指す成果	本町の歴史、文化遺産等を史実に基づき、調査、収集及び記録し、永く後世に伝え愛郷心の高揚を図るとともに、町勢の発展に寄与することを目的とする。また、情報の共有化を推進する一環として、収集した史(資)料は、町民が活用できるよう公文書館法に基づき、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関し、適切な措置を講ずるよう体制の整備を行い、後世の町民に伝える。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値		19年度実績値			
		これまでの調査成果などについて広報に掲載する。(年12回)	年12回	年12回	年12回	年12回		年12回			
	目標に対する達成状況	目標を達成 ★★★	実績値の算出説明		22年度広報12か月×1回						
	達成度の判断理由	現在、刊行については凍結されている。専門委員調査や古文書解読筆耕作業を実施、これまでの成果の一部を広報に提供、具体的に達成した。									
	今後の課題・方向性	①町史編纂事業 刊行をめざした町史編さん事業の本格的再開 ②記録史料の保存と公開に関する業務 公文書の管理に関する条例・規則の制定									
	他課との役割分担	行政管理課:公文書管理のライフサイクルの一翼と、情報公開制度の補完									
事務事業について		(単位:千円)									
事務事業名		取組実績		改善内容				事業費			
①	町史編纂事業	調査は進捗したもの、度々の刊行計画の改正により刊行事業としては進捗していない。		当面の間、活動を縮小するため、毎月の広報の掲載を行う。				H19決算	165		
								H20決算	136		
								H21決算	118		
								H22決算	84		
②	記録史料の保存と公開に関する業務	古文書等(自治組織等管理文書、民間史料)の整理保存は38組織中、12組織分が終了している。(31.6%)。歴史的公文書の整理保存作業は議会関係など一部については進捗している。		自治組織等管理文書などの整理保存作業を継続的に進捗させるとともに、歴史的公文書などの整理保存作業を進め、整理の終了した記録史料は、できるだけ早期に公開できるよう推進する。そのために、公文書の管理に関する条例・規則について作業を進める。				H19決算	89		
								H20決算	41		
								H21決算	36		
								H22決算	36		
③								H19決算			
								H20決算			
								H21決算			
								H22決算			
合計								H19決算	254		
								H20決算	177		
								H21決算	154		
								H22決算	120		

施 策 名		文化財保護業務の拡充									
施策の 情報整理	目指す成果	国・県や町で保存されている文化財や開発行為によって消滅する埋蔵文化財の記録などを通して、それぞれの文化財が保存という観点において有機的に結びつき、個々の文化財がもっている重要性を理解できるようになる。また、その情報を広く普及することによって、後世に残すべき文化財の保護思想につながる。									
	施策目標値及び実績値	指標・目標値		22年度実績値	21年度実績値	20年度実績値	19年度実績値				
		国指定史跡(拡大)、町指定文化財総件数、史跡指定同意書取得人数の割合、公有化面積	①1 ②20件 ③100% ④69,889㎡	①1 ②9件 ③96(45)% ④57,180㎡	①1 ②7件 ③85(45)% ④26,950㎡	①1(一部拡大) ②7 ③80%	①1(未拡大) ②7 ③50%				
	目標に対する達成状況	目標をほぼ達成★★	実績値の算出説明		町指定文化財については、指定した件数とした。 史跡の公有化については買収した面積を全面積の割合で表示した。						
	達成度の判断理由	町指定文化財については、獅子舞2件について指定した。 史跡指定同意書取得人数の割合については、地権者相続人の確定等により96%に達し、史跡の公有化については目標面積の82%を公有化した。									
	今後の課題・方向性	・岩屋古墳周辺の国指定史跡の公有化を達成するため、地権者が死亡している案件について相続手続きの相談に応じるなど、速やかな相続を支援する。 ・未指定部分については、追加指定を目指すし、残りの地権者からの指定同意書を取得する。 ・町指定関係は、有形文化財(建造物、彫刻、古文書、考古資料など)、民俗文化財(芸能など)について精査し、特に重要と思われる文化財を指定し、保護するとともに活用する。									
	他課との役割分担	建設課・下水道課・長門川水道企業団①(建築確認業務、町道、上下水道等の施工に関する業務) 産業課②(房総のむらと龍角寺の活用事業に関する業務)									
事務事業について											(単位:千円)
事務事業名		取組実績			改善内容				事業費		
①	文化財の保全と活用に関する業務	開発に伴う記録保存は、その都度の事業者等と連絡、協議、調整は達成されている。岩屋古墳の調査について協議を進め、次年度以降に発掘調査を進めることとなった。			引き続き開発に伴う保存に関しては協議、調整を行なう。町指定文化財については拡充を図る。また、保管されている歴史資料(埋蔵文化財・民俗資料等)についての整理を進め、積極的に活用を図り、余裕教室等を利用した学習センター等、公開・学習の方策を検討する。岩屋古墳の調査を進め、石室の復元、古墳群の整備を図っていく。				H19決算	402	
									H20決算	314	
									H21決算	123	
									H22決算	4,012	
②	龍角寺古墳群指定・調査整備事業	史跡指定同意書の取得については、不在地権者について家庭裁判所への申立てを行い、不在者財産管理人を選任し、不在者3人分の同意書を取得した。また、岩屋古墳周辺の公有化を進め、全体面積の82パーセントを達成した。			国指定史跡関連は古墳群全体の国指定化を目指し、同時に指定区域の公有地化を進める。また、整備・活用については町担当部局と共に具体的な計画を立案するため、岩屋古墳の調査を実施する。				H19決算	2,415	
									H20決算	0	
									H21決算	42,613	
									H22決算	43,334	
③									H19決算		
									H20決算		
									H21決算		
									H22決算		
合計									H19決算	2,817	
									H20決算	314	
									H21決算	42,736	
									H22決算	47,346	

学識経験者の意見（基本方針（３）について）

【施策名：文化芸術発信拠点の充実】

- ・宝くじまちの音楽会として著名アーティストのコンサートを実施して好評のようでしたので、今後もニーズにあった事業を展開してもらいたい。
- ・ふれあいプラザまつりはサークル団体の成果を披露する場なので、より大きなイベントとなるように支援してもらいたい。

【町史編纂事務事業の充実】

- ・自治組織等管理文書整理が３８組織中１２組織分が終了しているようですが、未整理分の自治会に資料提出の依頼をして進めるべきではないか。

【文化財保護業務の拡充】

- ・岩屋古墳の調査が入るようですが、何か発見されたなどの状況をみなさんに知らせたり、現地見学会などもしてほしい。
- ・龍角寺古墳群史跡指定同意書取得人数の割合が９６％ということですが今後も公有化の達成に向けて努力してほしい。